

**JASDAQ**

2017年9月15日

各 位

会 社 名 マックスバリュ九州株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 佐々木 勉  
 (コード番号：3171 JASDAQ)  
 問 合 せ 先 執行役員管理統括部長兼経営管理部長  
 篠崎 岳  
 (電話番号 092-433-1228)  
 当社の親会社名 イオン株式会社  
 代 表 者 名 取締役兼代表執行役社長  
 岡田 元也  
 (コード番号：8267 東証第1部)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2017年4月12日に公表した2018年2月期第2四半期累計期間(2017年3月1日～2017年8月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社は、前第2四半期累計期間(2016年3月1日から2016年8月31日まで)については四半期財務諸表を作成していないため、当四半期累計期間にかかる比較情報は記載しておりません。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

2018年2月期第2四半期(累計)業績予想数値の修正(2017年3月1日～2017年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円/銭
前回発表予想(A)	87,500	1,100	1,100	400	53.09
今回修正予想(B)	87,300	600	600	380	50.34
増減額(B-A)	△200	△500	△500	△20	
増減率(%)	△0.0	△45.5	△45.5	△5.0	
(ご参考)前年同期実績	—	—	—	—	—

#### 2. 修正の理由

売上高につきましては、2017年4月に都市型店舗としてCOCOSA B1店(熊本市中央区)、2017年5月にマックスバリュ長与中央店(長崎県西彼杵郡長与町)の2店舗をオープンするとともに、昨年度より継続実施しております「ライフスタイル対応型」の品ぞろえを目指した店舗改装を実施し、客単価の確保を図りました。

しかしながら、慢性的に不足している人材確保対策として、採用費の増加に加えてパート社員の時給見直しを実施するとともに、人材派遣を多用したことにより、オペレーションコストの増加が発生しました。また、猛暑による水道光熱費の増加等も発生し、結果として販売一般管理費が増加いたしました。

このため、売上高につきましては、見通しをわずかながら下回る 873 億円を確保できると考えておりますが、営業利益につきましては当初見通しを 5 億円下回る 6 億円に、経常利益につきましても当初見通しを 5 億円下回る 6 億円に、四半期純利益につきましては、当初見通しを 20 百万円下回る 3.8 億円になると判断いたしております。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって業績予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上